

第 23 回議会報告会 報告書

地域名	養父地域		
年月日	令和4年10月19日(水)	会場名	ふれあいセンターやぶ
開始時間	19時30分	終了時間	21時10分
参加数	男性 21人	女性 3人	合計 24人
班 長	浄慶 耕造	司会者	谷垣 満
報告者	浄慶 耕造、谷垣 満、 川瀬 稔、足立 隆啓	書記	浄慶 耕造
班員名	谷垣 満、足立 隆啓、川瀬 稔、浄慶 耕造		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 有機農業を進めるということだが、堆肥や液肥の悪臭がある。大藪のバイオマス発電所の液肥の臭いについて、議会はどのように把握しているか。</p> <p>② 都市計画に基づく八鹿の駅前開発はどのようにになっているのか。</p> <p>③ 八鹿病院の分娩休止は、若い世代にとって大きな不安だ。若者の移住定住にも影響を及ぼす。医師確保について自治協議会としても強く要望していきたい。</p> <p>④ 今回の肥料・資源高に対する農業支援は、有機農家だけに対してなされるものか。</p> <p>⑤ ヤングケアラー問題をどのように考え、どのような調査をしようとしているのか。</p>	<p>① 稼働時から環境調査が行われており、基準値以下と確認してきた。しかしおっしゃるような数値で表せない問題があり、今後さらに確認していく必要があると考えている。</p> <p>② 駅前駐車場の利用について質した。トイレや駐輪場の整備や花壇の花植えなど努力はされているが、大きく前進しているわけでもない。今後も注視していく。</p> <p>③ 産婦人科医の不足は大きな問題だ。八鹿病院や市も医師確保に努力するのは当然だが、早急に妊産婦を支援する方法を考えなければならない。議員間でもしっかりと議論して政策提言に繋げていきたい。</p> <p>④ 全農家に対して支給される。方法は提出されている営農計画に対し、面積に応じてプッシュ式で振り込まれる。</p> <p>⑤ この問題の深刻さは、本人が自覚を持ちにくいことである。家族として身内の世話をすることで学業や部活、友人との付き合いもおろそかになるが、仕方がないと考えてしまう。対策としては、ソーシャルワーカーなどの制度を充実させ、子どもたちの家庭と学校生活を細かく把握することが必要だ。議員間の学習も深める。</p>	

市 民		対 応
意見交換会での質疑	<p>① 3年前に消防再編があった。納得できないということで区長会として何度も意見を申し上げた。1年後に検証することだった。議会も総務文教常任委員会で調査をしたということだが、住民に説明してほしかった。</p> <p>② 養父校区 11 区で自走式草刈り機を共有して耕作放棄地の草刈りを行っている。耕作放棄地は深刻な悩みだ。議員も通り一遍ではなくて、強く市に対策を迫ってほしい。</p> <p>③ 燃料費も自前を出しながら周辺の放棄地の草刈りをしてきた。私有地を市が管理するわけにはいかないが、地域が守るとしても何らかの支援をするべきではないか。</p> <p>④ 空き家対策の構想はあるか。個人情報を持っているのは市なので、調査をしっかりとってほしい。</p>	<p>① 消防団員の定員割れが起こる中で、将来的な機能維持に向けて再編が行われた。消防団員の確保には従来どおりではだめだということで、出動手当が創設された。われわれも詰所の改善などを求めてきた。軽積載車の廃止については、集落内に狭い道路が多いところもあるので、今後も検証を加えていく。</p> <p>② 多くの議員がこの問題で質問している。市は国家戦略特区による企業参入や人・農地プラン、中間管理機構を介した農地集約で耕作放棄地の拡大を防ごうとしてきたが、十分な成果は上がっていない。いくつかの提案も行っているが今後も皆様のアイデアを寄せていただいて取り組んでいきたい。</p> <p>③ 地域の負担が大きくなってきている。支え合い、ということでボランティアのマッチングという制度も作られようとしている。補助金など金銭的な支援は未定だが注視したい。 国の多面的機能交付金は水路や農地の保全に使えるが、金額的にも使い勝手の上でも十分でないと思っている。</p> <p>④ 空家等対策特別措置法を受けて、市も条例を定め特定空家の対策を強化している。代執行の予算も計上した。空き家バンクへの登録の推進や適正管理に向けて、地元区と連携する取組に対する補助金制度も作った。空き家対策に関する協議会の判定も経なければならないが、時間の余裕もない。議会も強い関心をもって臨む。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和4年11月6日

報告者 4班 班長 淨慶 耕造